

101	産業遺産でめぐる川崎の鉄道史				オンライン併用
	【会場定員】 150名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員 2,860円 1年会員 3,218円 聴講生4,290円				
	短期集中 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計3回)				
概要	川崎の発展は、鉄道とのかかわり抜きに語ることはできない。鉄道開業から150年、川崎の産業や社会は変貌を遂げてきた。その変化・発展の過程で生まれたモノが産業遺産として今に伝えられている。産業遺産を手掛かりに、鉄道史という側面から、川崎の近現代史を掘り下げてゆきたい。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	11/7(火)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	川崎150年の産業と鉄道の変遷、そして産業遺産のいま	法政大学・関東学院大学講師 中川 洋	
2	11/28(火)		探求! 南武線と小田急線 – 激変した地域社会と鉄道		
3	12/12(火)		探求! 臨海部の鉄道 – 幻の環状鉄道と市電・トロリーバス		